



1



2



3



4

加守田章二

- 1 曲線彫文花瓶 Vase with curving incised pattern 1970年 益子陶芸美術館
- 2 壺型彩陶 Colored jar 1971年 益子陶芸美術館
- 3 壺 Jar 1975年 益子陶芸美術館
- 4 紫面鉢 Purple faceted bowl 1968年

- 5 鉢1 Bowl 1986年
- 6 ふたつの平行四辺形 Two Parallelograms 1976年
- 7 台座に置かれた5つのティーポットとキャディー Five Teapots and Caddies on a Ground 2013年 益子陶芸美術館
- 8 身体型壺 Somatic Jar 2023年

ジュリアン・ステア

5



6



7



8



ジュリアン・ステア(1955～)はイギリス・ブリストル生まれの現代イギリスを代表する陶芸家です。1974年にカンバーウェル・スクール・オブ・アートで陶芸を学び、1978年からはロイヤル・カレッジ・オブ・アート(RCA)にて陶芸を学びました。

日本の近代陶芸の寵児として知られる加守田章二(1933-1983)は、大阪府岸和田市生まれで1952年に京都市立美術大学工芸科陶磁器専攻に入学し、陶芸を学びました。この二人の陶芸家の共通点として、“うつわ”を作り続けていることが挙げられます。本展では、ジュリアン・ステア25点、加守田章二25点、合計50点の作品を通して二人の作家の作る“うつわ”の必然性を探っていきます。

また、益子国際工芸交流事業では本展会期中にジュリアン・ステアを招聘し滞在制作を行います。さらにこの間に制作された作品を当館敷地内、旧濱田庄司邸にて展覧します。作家であると同時に濱田庄司の研究者でもあるジュリアン・ステアが、旧濱田庄司邸という空間との融合を意識して制作する作品展示を是非お楽しみください。

益子交際工芸交流事業／アーティスト・イン・レジデンス in 益子 2024 関連イベント

クロストーク Cross Talk

「Why I make vessels —“うつわ”について他者の視点を通して考える—」

日時：2024年1月27日(土) 13:00-16:00

場所：益子国際工芸交流館(陶芸メッセ・益子内)

モデレーター：稲賀繁美氏(京都精華大学教授)

スピーカー：ジュリアン・ステア氏(陶芸家・イギリス)・近藤高弘氏(陶芸家・京都) 参加費：無料

定員：30名程度(席に限りがありますのでご希望の方はご連絡ください) ※ 通訳あり

オープンスタジオ Open Studio

日時：2024年2月1日(木)、11日(日・祝)、3月2日(土) 13:30-15:30

場所：陶芸工房(陶芸メッセ・益子内)

ワークショップ Work Shop

日時：2024年2月18日(日) 13:30-15:30

場所：陶芸工房(陶芸メッセ・益子内) 参加費：無料

成果展示 Exhibition

日時：2024年3月16日(土) - 4月7日(日) 9:30-17:00

場所：旧濱田庄司邸(陶芸メッセ・益子内)

※ 各イベント詳細につきましては、SNS等でお知らせいたします。



ジュリアン・ステア氏

展覧会会期中

ジュリアン・ステア氏が
滞在制作を行います。

Access



【バス】東武宇都宮駅西口1番バス乗り場、JR宇都宮駅西口14番バス乗り場から関東バス益子行、またはJR秋葉原駅から茨城交通高速バス「関東やきものライナー」笠間・益子行で陶芸メッセ入口下車徒歩2分。

【鉄道】JR小山駅から水戸線下館駅下車、下館駅から真岡鐵道益子駅下車徒歩25分。

【自動車】常磐自動車道友部JCT経由、北関東自動車道桜川筑西ICから20分。東北自動車道栃木都賀JCT経由、北関東自動車道真岡ICから25分。

※ 運行状況は各交通機関にご確認ください。

益子陶芸美術館

Mashiko Museum of Ceramic Art

栃木県芳賀郡益子町益子3021 TEL:0285-72-7555

URL: <http://www.mashiko-museum.jp/>